

～ALTの活用の巻～

フランス人の外国語指導助手の活用の紹介

(財)自治体国際化協会業務部プログラム・コーディネーター

元千葉県立成田国際高等学校外国語指導助手 カステックス・セリーヌ

はじめに

2013年は、日本とフランスの交流が本格的に始まってから155周年を迎えると共に、フランス人がJETプログラムに参加を始めて25周年という節目の年です。これまで延べ254人のフランス人がJETプログラムに参加し、日本での外国語指導や地域レベルの交流活動に励みました。彼らはJETプログラム終了後も日本で得たさまざまな経験を通じ、フランスまたは日本で、フランスと日本の架け橋となりさまざまな分野で活躍しています。今回は、フランス人ALTの活用について紹介をします。

フランス人のJET参加者の現状について

フランス人のJET参加者は、地域において国際交流活動に従事する国際交流員（CIR）と学校で語学指導に従事する外国語指導助手（ALT）の二つの種類に分かれています。現在CIRは10人、ALTは4人。フランス人CIRの活動の舞台は全国津々浦々に及んでいますが、ALTの場合は、関東地方にあるフランス語を第一・第二外国語として学ぶことができる公立高等学校においてか、もしくは英語のALTとして活躍しています。

典型的なフランス人ALTとは？

多様性に富んでおり、さまざまな方がいるのですが、強いて言えば、大半のフランス人ALTは大学で日本語を専攻し、日本での留学経験があります。または外国語としてのフランス語教授資格を取得し、外国語としてのフランス語講師の経験も

あります。そして、フランス人ALTにはもう一つの特徴があります。それは、JETプログラムの資格要件の中で実用的な英語および日本語能力を有することが求められていることです。その結果、彼らはフランス語だけでなく、英語も教える場合があります。

私のALTとしての経験

私は2011年まで、千葉県立成田国際高等学校でフランス人ALTとして5年間勤務しました。「成田」という学校は「世界を結ぶ国際空港」と「伝統ある成田山」という二つの大きな特色を持つ成田市にあり、国際教育に非常に力を入れていることで知られています。近年、文部科学省による「英語力を強化する指導改善の取組」事業の拠点校として指定されるなど、英語教育の継続的な取り組みが高く評価されています。英語のほか、フランス語、中国語、韓国語のチームティーチングの授業が行われ、毎日通勤するALTは4人もいます。私はその中の1人で、フランス語と英語を同時に教えていました。フランス語の授業は初心者レベルのため、遊び心のあるアクティビティーを中心にしていました。生徒自ら話す機会を増やすために、ゲームやスキットなどを通して、生徒同士の間のフランス語交流を行っていました。また、フ



フランス語の授業でクレープ作り

ランス語およびフランスの文化に興味を持ってもらうため、フランスの映画などを紹介したり、フランスの歌を一緒に歌った

りと、アクティビティーを積極的に取り入れた結果、生徒は授業に楽しく参加できました。その中で、フランス人の若手人気



英語の合宿で担当していたチームがディベートで優勝しました

俳優のファンクラブと手紙交換を行い、その俳優から生徒全員分のサイン入りの写真ももらった時は、クラス全員が感動しました。英語の授業は英語を使ってプレゼンテーション、意見交換、ディベートなどさまざまなアプローチで行い、興味深かったです。私が一番誇りに思っているのは、ルワンダ、スーダンなどの事例を通じて紛争解決をテーマとするレッスンを作り、紹介した異文化理解の授業です。

私にとって、「成国」で仕事をすることはいろいろな意味で勉強になりました。フランス語や文化を教えることによって、客観的に自国を見ることができるようになったからです。そして国際交流を通じて、自国の文化を学ぶことの大切さを再認識することができました。「成国」の先生方と対話や協議がしやすい環境でしたし、生徒たちは陽気で活発な性格だったため、教育者としての成長ができ、私のALTとしての5年間は喜びに満ちたものでした。

関係者へのインタビュー

①千葉県立成田国際高等学校 国際部長 戸村 玲子先生

フランス人ALTは、本校でフランス語を第二外国語として学んでいる2年生と3年生に対し、それぞれ週2回教えています。フランス語の選択者がスキットコンテストやフランス語検定などに挑戦したりする際には、一生懸命指導していただき、いつもいい成績を取ることができています。

それから彼らは英語も教えています。現在異文化理解という3年生の国際科の学校設定科目のク



②千葉県立成田国際高等学校 2013年卒業生 菅原 雷起

日本では、異文化理解というのはまず異文化＝アメリカや英語圏理解、のようなところがあります。しかし、フランス語やフランスについての勉強をすると、英語圏だけではなくフランスも異文化なのだということが実感できます。フランス人ALTのメリットは、英語が母語ではないため、英語が母語でない日本人の生徒が勉強する時に、英語圏のALTよりも英語のどこが難しいか分かるし、異文化理解が「英語だけじゃないよ」というのも伝えられることで、これは生徒の世界観を広げると思います。

